

「無線呼び出しベル」が 一流企業の工場や物流センターで、 アンドンとして活躍しています。

【某大手自動車メーカー様 インタビュー記事】

具体的な数字は言えませんが…
3～4割程度のコストダウンではありません。
かなりの費用メリットがありました。

Q ソネット君を導入されたきっかけについて教えてください。

A 工場のラインの入れ替え、レイアウト変更を行うため、「生産状況報告システム」の一時撤収および再配置の見積をとったところ、数百万円の見積が出てきたので躊躇していました。

そんな中、ファミレスで見つけた「ソネット君」を見て、これで代用できないか…と思い問い合わせたのがキッカケです。



Q 既存の生産状況報告システムの配置変更工事費用よりもソネット君の方が安かったのですか？

A ええ、具体的な数字は言えませんが、3割、4割程度のコストダウンではありません。かなり費用のメリットがありました。

しかも、小さなレイアウト変更から大幅な見直しは、今後も発生しますから、その都度数百万円かかっていたのでは大変です。

Q 実際に商談をした際に、何か懸念事項はありませんでしたか？

A 広い工場(40,000㎡×2階)なので、電波が届くのか心配しました。
でも、メーカー(パシフィック湘南)さんの独自の創意工夫で動作することがわかったので、安心して稟議をあげました。

Q 他に懸念事項はありませんでしたか？

A 電波の干渉です。他の設備が誤動作したら大変ですから。

ただ、この懸念事項もメーカー(パシフィック湘南)さんが丸一日かけて、電波テストを実施し最適な設置位置や運用の提案をしてくれたので安心することが出来ました。

Q 生産状況報告システムから変更したことによる現場の不平不満等は発生しなかったのでしょうか？

A 表示機は「生産状況報告システム」よりも小さいですが、現場からの不満は皆無でした。携帯版の表示機がブルブルと知らせてくれて、番号もわかるので、その効果もありますね。



【携帯型受信機】

Q 具体的な利用場面を教えてください。

A 今までの「生産状況報告システム」と同じです。

トイレに行きたい、部品を落としてしまった、作業が遅延している等のヘルプと、部品を供給してほしいときの要請に使っています。

Q 生産状況報告システムの代用品としての利用以外の場面はありますか？

A それが部品の供給依頼です。

いままでは、「部品呼び出しの専用機」を入れていましたが、それも「ソネット君」で代用しました。青いパトライト®が点灯すると「ヘルプ」、黄色いパトライト®が点灯すると「部品」と視覚的にわかるようになっていきます。

Q その専用機も高額なのですか？

A そうですね。制御盤だけでも数百万はします。この部分だけ見ても、メリットは大きいです。

ありがとうございました。

トヨタ生産方式では 「目で見える管理を重視しており」 ソネット君はまさに 「見える化」の役目を果たしています。

ソネット君を導入された目的について教えてください。

当初は作業員がラインでの仕事の遅れや作業上の破損などを、管理者に伝えヘルプを要求するための手段として導入しました(リリース対応)。

今は、このリリース対応の他に、作業員が部品を供給して欲しいとか、作業完了したので取りに来て欲しいなどの合図をする道具として、ソネット君を利用しています。

ソネット君を利用する前は、どのような運営をしていたのでしょうか？

リリース対応に関しては、電話で対応していました。すると、作業が一時中断せざるを得ません。作業員は、遅れることで慌ててしまい、品質低下のリスクを抱えていました。

これを防止するため、押したらすぐに管理者がヘルプできる体制を整える必要があったのです。

ソネット君を導入する際、他の商品やシステムの代替案は検討されたのでしょうか？

もちろんです。

工場によく利用される「アンドン」です。この工場の2Fには、まだその「アンドン」が動いています。



【ソネット君一式】

アンドンと比較検討した際に、ソネット君の方が良いと思われた点を教えてください。

2つあります。

1つ目はコストで、アンドンと比較して37.5%もの

設備投資を削減できました。

さらに、もう一つが決め手だったのですが、無線対応という点でした。

工場では、生産体制の変更によりレイアウトが変わる時があります。アンドンは有線なので、そのレイアウト変更が容易ではありません。

変更時には、配線工事費用だけでも百万単位の作業費用がかかってしまうのです。

無線によるデメリットはなかったのですか？

懸念事項はありました。

工場では、様々な無線が飛び交っていますので、干渉による通信トラブルの問題です。

しかし、パシフィック湘南さんが、導入前に実際に現場にきて「電波テスト」を行ってくれたので、安心して導入することができました。

ですので、無線によるデメリットという点は全くありません。



【無線の中継機】

ソネット君を導入したことによる効果を、具体的に教えていただけますでしょうか？

ヘルプをしやすくなった事で、作業員がラインの遅れを心配して慌てずに済み、作業に集中しやすくなった点です。これは品質の安定に非常に重要なポイントになります。

トヨタ生産方式では、「自動化」と「ジャストインタイム」が生産性を向上させる2本柱となっています。

そのために「カンバン方式」などの具体的な道具を開発してきましたが、「ソネット君」もその一つです。

トヨタ生産方式では、「目で見える管理」を重視しており、ソネット君はまさに「見える化」の役目を果たしています。

作業員、管理者、会社、みんなにとってメリットがあるということですね。

その通りです。

作業員は安心して仕事に集中できますし、管理者は生産性の向上を図ることができ自らの役目を全うすることができます。

結果、会社にとっては売上増大に貢献できることになりますね。

作業員の方が安心して働ける環境に着目されているのですね。

はい。例えば「反転ライン」というのがありますが、シャーシを逆さまにしてムリな姿勢をとらなくても作業ができるようにラインを設計しています。

結局は、仕事のやりやすい環境を作ることが、生産性向上に繋がるのです。

生産性の向上が命題だと言うことなのですね。

その通りです。具体的な数字は言えませんが、限られたスペースで生産台数を増やすには「稼働率」を上げるしかありません。

100%に近づける努力は、日々行っています。他にも、利益を出すためには人件費を最適化しなければなりません。

これも具体的な人数は言えませんが、ソネット君の導入により管理者の数を少しずつ減らしても大丈夫な体制が整ってきました。

ありがとうございました。